

(財)JKA 障害をもつ人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業  
完了のお知らせ

この度、(財)JKAから平成23年度競輪公益資金による補助金の交付を受け、次の事業を完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、(財)JKAをはじめ、ご協力賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

1. 事業名 平成23年度障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動  
補助事業
2. 総事業費 22,743,081円
3. 補助金額 17,050,000円
4. 実施場所 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番9号 三星ビル5階  
公益財団法人日本障害者スポーツ協会
5. 完了年月日 平成24年2月29日

公益財団法人日本障害者スポーツ協会  
会長 鳥原光憲

## 1. 概要

### ①第11回全国障害者スポーツ大会(山口県)

名 称 第11回全国障害者スポーツ大会(おいでませ!山口大会)

実施日 平成23年10月22日~24日

実施場所 山口県内8市の各会場

(下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、周南市、山陽小野田市)

実施競技 個人競技6(陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング)

団体競技7(バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、フットベースボール、  
グラウンドソフトボール、バレーボール、サッカー)

オープン競技1(卓球バレー)

参加者 5,404名(選手3,238名 役員2,166名)



001-716 設置



001-716撤去



001-717 設置



②第11回全国障害者スポーツ大会予選会(全国6～8地区)

1)聴覚障害者バレーボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年5月21日～6月26日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

	(男子)	(女子)
北海道・東北		福島県
	※予選会未開催	
関東	東京都	神奈川県
	5月21日	小豆沢体育館(東京都)
北信越・東海	愛知県	岐阜県
	6月26日	ホワイトリング(長野県)
近畿	大阪市	大阪市
	6月19日	舞洲アリーナ(大阪府)
中国・四国	広島市	広島市
	5月22日	萩市民体育館(山口県)
九州	福岡市	沖縄県
	5月21日	宮崎県体育館(宮崎県)



2)視覚障害者グランドソフトボール競技ブロック予選会

全国8地区に分け、平成23年5月15日～6月19日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	青森県	6月18日～19日	青森市合浦公園多目的広場(青森県)
関東	群馬県	5月28日～29日	宇都宮市屋板運動公園(栃木県)
北信越	新潟県	5月21日～22日	五福公園五福スポーツ広場(富山県)
東海	三重県	6月5日	愛知県立名古屋盲学校(愛知県)
近畿	京都府	5月29日	京都市朱雀公園野球場(京都府)
中国	広島県	5月22日	宇部市東部体育広場(山口県)
四国	愛媛県	5月15日	東温市総合公園多目的グラウンド(愛媛県)
九州	鹿児島県	5月21日～22日	筑後広域公園多目的広場(福岡県)

3)車椅子バスケットボール競技ブロック予選会

全国7地区に分け、平成23年5月21日～6月19日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	仙台市	6月18日～19日	新青森県総合運動公園(青森県)
関東1次	No Excuse	5月22日	豊島区立豊島体育館(東京都)
関東2次	千葉県	5月28日～29日	安中市スポーツセンター総合体育館(群馬県)
北信越・東海	愛知県	6月11日～12日	かんぼ岐阜羽島(岐阜県)
近畿	神戸市	6月5日	大阪市舞洲障害者スポーツセンター(大阪府)
中国・四国	高知県	5月21日～22日	山口県ソルトアリーナ(山口県)
九州	沖縄県	5月28日～29日	粕尾町総合体育館(福岡県)

#### 4)知的障害者バスケットボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年5月21日～6月26日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

	(男子)	(女子)		
北海道・東北	秋田県	秋田県	6月11日	秋田市立体育館(秋田県)
関東	横浜市	東京都	6月25日～26日	都立王子特別支援学校体育館他(東京都)
北信越・東海	長野県	愛知県	6月11日～12日	岐阜アリーナ(岐阜県)
近畿	大阪市	大阪市	6月12日	県立兵庫県スポーツ交流館(兵庫県)
中国・四国	高知県	岡山県	5月21日～22日	下松スポーツ公園体育館(山口県)
九州	福岡県	沖縄県	6月19日	宮崎県体育館(宮崎県)

#### 5)知的障害者バレーボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年5月21日～6月26日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

	(男子)	(女子)		
北海道・東北	宮城県	宮城県	6月26日	岩手県営体育館(岩手県)
関東	東京都	東京都	5月22日	横浜ラポール(神奈川県)
北信越・東海	岐阜県	岐阜県	5月21日	白根カルチャーセンター(新潟県)
近畿	兵庫県	兵庫県		※予選会未開催
中国・四国	高知県	高知県	5月21日	周南市総合スポーツセンター(山口県)
九州	北九州市	宮崎県	6月18日	杵築市文化体育館(大分県)



#### 6)知的障害者サッカー競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年5月1日～6月15日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	札幌市	6月15日	青森県(震災の影響により抽選会)
関東	東京都	5月1日	群馬県立サッカー・ラグビー場(群馬県)
北信越・東海	静岡県	5月14日	県営鈴鹿スポーツガーデン(三重県)
近畿	大阪府	6月12日	上富田スポーツセンター(和歌山県)
中国・四国	島根県	5月22日	おのだサッカー交流公園サッカー場(山口県)
九州	沖縄県	5月15日	大分スポーツ公園だいぎんサッカー・ラグビー場(大分県)

### 7)知的障害者ソフトボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年4月24日～7月9日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	青森県	7月9日	宮城大学グラウンド(宮城県)
関東	東京都	4月24日	都立光が丘公園野球場(東京都)
北信越・東海	岐阜県	6月18日	口論義運動公園(愛知県)
近畿	奈良県	6月12日	府立立山城総合運動公園(京都府)
中国・四国	岡山県	5月21日～22日	下関球場(山口県)
九州	福岡県		※予選会未開催



### 8)知的障害者フットベースボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年4月24日～6月5日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	岩手県	6月5日	山形県総合運動公園(山形県)
関東	東京都	4月24日	笠松運動公園野球場(茨城県)
北信越・東海	静岡県	5月22日	榛原運動公園ぐりんぱる(静岡県)
近畿	神戸市	6月5日	神戸市立小野浜公園球技場(兵庫県)
中国・四国	岡山県	5月22日	宇部市東部体育広場(山口県)
九州	熊本県		※予選会未開催

### 9)精神障害者バレーボール競技ブロック予選会

全国6地区に分け、平成23年4月23日～7月17日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	秋田県	7月17日	青森県立青森北高等学校(青森県)
関東	埼玉県	6月4日	本庄総合公園体育館(埼玉県)
北信越・東海	浜松市	6月11日～12日	安八町総合体育館(岐阜県)
近畿	兵庫県	6月12日	大阪市舞洲障害者スポーツセンター(大阪府)
中国・四国	岡山県	5月21日～22日	周南市総合スポーツセンター(山口県)
九州	佐賀県	4月23日	熊本県立総合体育館(熊本県)

### ③日本障害者自転車競技大会の開催

名称:2011日本自転車競技大会

#### 1)トラックレース

実施日 平成23年7月23日(土)、24日(日)

実施場所 向日町競輪場(京都府)

参加人数 選手12名



#### 2)ロードレース

実施日 平成23年6月4日(土)

実施場所 万場調整池(愛知県)

参加人数 選手15名

#### 3)その他

印刷物(2種類)を作成し、  
関係団体に配布した(2月29日発送完了)



## 2. 成 果

### ①第11回全国障害者スポーツ大会(山口県)

「たちあがれ！東北 がんばろう！日本」の合い言葉のもと、東日本大震災復興支援第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」を開催した。

全国から多くの選手、役員が参加する中、開閉式及び全ての競技会が予定どおり行われ、被災地のみならず全国の皆さんに、勇気と希望、そして元気を送ることができた。

3日間で、選手、観客、ボランティア、関係者を合わせ延べ83,000人が参加した。そのうちボランティアは延べ4,710人であった。これは当初の計画を大幅に上回る参加だった。事業の成果、実施体制、効率性、成果の広報も当初の計画通りに実施できた。

### ②第11回全国障害者スポーツ大会予選会の開催

9競技12種目の団体競技予選会が、全国各ブロック(6~8ブロック)において実施された。

身体障害の部では、車椅子バスケットボール、グランドソフトボール、バレーボール(男女)を行い、知的障害の部では、サッカー、バスケットボール(男女)、バレーボール(男女)、ソフトボール、フットベースボールを行い、精神障害の部では、バレーボールを行った。

予選会は毎年持ち回りで開催するため、各競技も普及し、審判員、関係する指導員の増加が見られた。また、予選会に参加するチームも、年々増加している。

### ③日本障害者自転車競技大会の開催

本大会は、国内で開催される障害者自転車競技唯一の全国大会であり、国際パラリンピック委員会公認大会として、国際大会への大きな足がかりとなっている。この大会で優秀な成績を収めた選手が、毎年世界選手権等国際大会で活躍している。

また、大会の開催には、一般自転車協会の関係者が多く係わっており、年々、障害者自転車への理解が深まっている。特に、視覚障害の選手のパイロットとして、一般の自転車競技者が参加しており、より一般自転車協会と日本障害者自転車協会のつながりが深くなった。

## 3. 今後予想される効果

### ①第11回全国障害者スポーツ大会(山口県)

本大会は5年ごとに大幅な見直しが行われ、障害者が公平かつ、積極的に参加できる環境作りに努めている。今後、参加できる障害の幅を広げるよう、検討中であり、より広く障害者の参加が期待できる。また、多くのボランティアや関係団体の協力と支援により運営されているが、ボランティア等が身近で障害者スポーツに触れることにより障害者スポーツへの理解が深まる。開催県である山口県では、一般のスポーツ施設が障害者にとっても、ソフト面で使いやすくなり、障害者スポーツ指導員も増加することが期待される。今後も継続することにより、より多くの県や地域での障害者スポーツ振興が進む事が考えられる。

### ②第11回全国障害者スポーツ大会予選会の開催

予選会の開催県(実施場所)を持ち回りすることにより、障害者スポーツや競技がさかんでない地域での普及振興につながり、各地域で、障害者スポーツの理解を深めた審判員、手話通訳、スポーツ指導員の増加が見込まれる。

また、精神障害においては、個人競技の正式種目が無いため、今後団体競技の予選会を各地域で継続することにより、精神障害への理解につながる。

### ③日本障害者自転車競技大会の開催

本大会は、一般の自転車競技連盟の協力を得て開催しているため、一般の自転車競技(競輪)経験者が障害を受傷後、障害者自転車競技の選手になったり、一般の自転車競技でも活躍する指導者が、障害者自転車競技でも技術指導をするなど、団体同士の連携ができた。

また、本大会で活躍した選手がパラリンピックをはじめとする国際大会でメダル獲得、上位入賞が見込まれる。

## 4. 本事業により作成した印刷物

### ①日本障害者自転車競技大会

#### 1) 印刷物(2種)

プログラム (180部)

報告書 (200部)

#### 2) 配布先 (計200部)

※別紙一覧表参照

各県障害者スポーツ協会 (54カ所)

角等道府県・指定都市主管課 (66カ所)

障害者スポーツセンター (23カ所)

選手 (30カ所)

大会関係者 (27カ所)